

W B F 法規委員会議事録抜粋

2011年10月18日

第1号議案～第4号議案

省略

第5号議案

委員会は、第64条C項に関する2008年10月8日の議事録を再検討した。同じスタートで同じプレイヤーによる2回以上のリボークのケースについて委員会の解釈を再確認した。最初のリボークには、第64条A項に従ってペナルティの規定を適用する。これ以降のリボークに対しディレクターは第64条C項を適用する。2回目以降のリボークがなければ非反則側がもっとトリックを取れるのであればスコアを調整する（次例参照）

例

S: 10

H: Q J 6 5 3

D: K 6 5 2

C: A K Q

S: J 7 6

S: 5 4 2

H: 9 8 7

H: A K 10 2

D: A 10 9 8 7

D: Q 4 3

C: J 10

C: 8 4 2

S: A K Q 9 8 3

H: 4

D: J

C: 9 7 6 5 3

Sが4Sのディクレアラール、WはC Jをリード

プレイ

West	North	East	South
CJ	CA	C2	C3
C10	CK	C4	DJ !!
S6	CQ	C8	H4 !!

DAをディクレアラールはラフして残りのトリックを全部勝った。

結果: 12トリック

事実: SはCKとCQで2回リボークした。

裁定:

T Dは最初のリボークに対して64条A項2を適用し、1トリック移した。2回目のリボークに対してペナルティはないが64条C項を適用する。2回目のリボークでSが利益を得たときはこれを取り除く必要がある。3トリック目にSがスタートにフォローすればWはラフし、Sはもう1トリック取られる。調整スコアは4Sジャストメイク。

第6号議案

委員会は、プレイヤーが意図しなかったコールを行ったとき注意が散漫になったとき、「考える間」は初めて間違いに気づいたときから適用することを再確認した。第25条A項に次の脚注を追加することを決定した：

「プレイヤーは、第25条A項に規定された条件に合致すれば、どのような理由で間違いに気づいたとしても、意図していなかったコールを言いなおすことができる」

この問題は次回の規則見直しでさらに検討することにした。

第7号議案～第8号議案

省略

第9号議案

委員会は、2009年9月14日の委員会議事録を、「どのような状況でも、第69、第70および71条の適用にあたって加重スコアを使用することはない」と解釈することが適切かについて検討した。規則では「このようなトリック」はディレクターの事実認定に基づいて移したり移さなかったりする。取りまたは取られの宣言で、トリック数の決定にあたりディレクターは調整スコアを与えない。第12条C項1(c)に基づく過重は規則で調整スコアを与える場合に限り適用するという一般的制限を適用する。

第10号議案～第11号議案

省略

2011年10月20日

第1号議案～第6号議案

省略

第7号議案

25条A項に基づいてディレクターがコールの言いなおしを認めた場合、取り消されたコ

ールは一切なかったものとみなされる。不当な情報が伝わることはない。意図していなかったコールの言いなおしに第16条D項は適用されない。ディレクターがこの条項で認められないコールを認めた場合、これはディレクターの間違いで第82条C項を適用する。

第8号議案

時として規則はディレクターにある行動がもう一つの行動の後か否かの判断を求めることがある。例えば、非反則側の行動が違反の後で非反則側が自ら損害を招いたかという問題で、後なら非反則側はこの損害に対し補償を受けない。ディレクターは史実をどちらかに決定しなければならない。行動のタイミングはイエスかノーかの単純な事実に関する問題であり、この条項の適用にあたって加重することはありえない。

第9号議案

第25条A項と第25条B項のどちらを適用するかはディレクターの問題である。第25条A項を適用する第一の条件はパートナーがその後コールしてはならないということであり、これはディレクターにとって事実の問題である。適用する場合、ビディングボックス規程に含まれている関連条項を参照する。

第10号議案

委員会は、ビディングボックスの使用で「機械的な間違い(mechanical error)」の解釈について討議した。この定義は、プレイヤーが「X」とコールするつもりで「X」と考えていたが指が意図せずに「Y」をビディングボックスから抜き出したケースに当てはまる。

例： North East South West
 1H P 2C P *2Cはハートサポートのインビテーション
 P

Nのこのパスは意図したものである可能性が非常に高く（つまり機械的ではない）、従って変えることはできない。

第11号議案～第13号議案

省略